

船舶事故等調査報告書

平成22年1月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2008横第110号	
事故等種類	衝突（棧橋）	
発生日時	平成20年11月12日 05時00分ごろ	
発生場所	三重県四日市市 四日市港東防波堤南灯台から真方位092° 2.5海里付近（概位 北緯34° 57.0′ 東経136° 42.6′）	
事故等調査の経過	平成20年12月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 漁船 第二豊榮丸、14.97トン</p> <p>船舶番号、船舶所有者等 AC2-3293（漁船登録番号）、個人所有</p> <p>乗組員等に関する情報 船長、一級小型船舶操縦士</p> <p>死傷者等 船長 顔面裂傷、甲板員 打撲</p> <p>損傷 本船船首部圧壊 シーバース甲板下側面凹損、甲板上手すり折損及び曲損、鋼及びラバー製フェンダー損傷</p>	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか2人が乗り組み、魚群探索をしながら四日市港に達し、船長は、先に北側海域で探索をしている他船を見つけて避航するつもりで右転して探索を続けながら東北東方に向けて航行中、平成20年11月12日05時00分ごろ針路約080° 速力約10~12ノットでコスモシーバースに船首部が衝突した。</p> <p>本船は、僚船に伴走されながら自力航行により帰港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：潮汐 ほぼ高潮時</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、四日市港において魚群探索に専心して、見張りを行わず、シーバースに向首して航行していることに気付かなかったものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、四日市港において航行中、魚群探索に専心し、見張りを行わなかったため、シーバースに向首していることに気付かず航行し、シーバースに衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>	